

都市再生整備計画 事後評価シート

五所川原市中心市街地地区

平成23年3月

青森県五所川原市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	青森県	市町村名	五所川原市	地区名	五所川原市中心市街地地区			面積	34ha			
交付期間	平成18年度～平成22年度	事後評価実施時期	平成22年度	交付対象事業費	6,942百万円	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業		道路(3・4・1大町寺町線、3・5・5広田新宮町線、市道柏原町旭町線、市道西部55号線、区14-1、区14-2、区12-2外2路線)、下水道(雨水、汚水)、地域生活基盤施設、土地区画整理事業									
	提案事業		地域創造支援事業、事業活用調査									
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	基幹事業		道路(区12-2外2路線)、下水道事業(雨水、汚水)、地域生活基盤施設		・道路:電線類地中化取りやめのため・下水道:地区外下水を含むため・地域生活基盤施設:社会資本総合整備計画(市街地整備)で実施するため削除			影響なし				
	提案事業		なし		-			-				
新たに追加した事業		基幹事業		なし		-						
提案事業		事業活用調査		・都市再生整備計画の事業効果分析調査を追加			影響なし					
交付期間の変更		当初	平成18年度～平成22年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
変更		-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	五所川原立佞武多入込客数	万人	162.5	H16	200	H22	180.5	△	あり なし	数値目標は達成しなかったが、これまでで最多の人出を記録した。	平成23年9月
	指標2	空き店舗数	店舗	24	H16	0	H22	0	○	あり なし	土地区画整理事業区域内で点在していた空き店舗を地区内に不足していた駐車場や商業店舗・一般住宅への転換を促すことができた。	平成24年3月
指標3	歩行者空間利用アンケート	%	77.8	H12	25.0	H22	78.2	×	あり なし	目標に達しなかったが、2項目の数値のうち「気軽に立ち寄り、休憩できるオープンスペース・小広場」に関しては改善が見られた。	平成24年3月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
その他の数値指標1	五所川原立佞武多参加団体数	団体	16	H17			19			土地区画整理事業による歩道拡幅や関連事業である国道101号交通安全施設整備事業、国道339号無電柱化事業が功を奏し参加団体数の増加につながった。	平成23年9月	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業により老朽建物の更新と狭隘道路の解消が図られたことにより防災性が向上した。 ・観光交流人口の増加によりホテル建設の動きが見られるようになった。 ・「立佞武多の館」周辺のバリアフリー化した歩道と土地区画整理事業により移転後建替えされた商業店舗による、歩行者ネットワークが形成された。 											
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
	住民参加プロセス	車道舗装・歩道表面・照明灯等まちづくり協議会で意匠を検討した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 建築確認申請時まちづくり協定の周知を図ることで、街並みイメージづくりの側面支援をする。					
	持続的なまちづくり体制の構築	H22年6月から地区内道路において、生産者が地場農水産品の対面販売として軽トラ市のイベントを開催している。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 広場整備を行い地元生産者が農水産物を対面販売するイベントの側面支援をする。					
		街並みイメージについて住民の意識共有を図るためまちづくり協定を制定し各通りグループのまちづくりコンセプトを定め建築物の外観イメージに関し形態・色彩等景観コントロールを図っている。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 建築プラン作成や確認申請時まちづくり協定の周知を図る事で街並みイメージづくりの側面支援をする。					

様式2-2 地区の概要

五所川原市中心市街地地区(青森県五所川原市) 都市再生整備計画事業の成果概要							
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値		
大目標:地域固有の歴史・文化資源である立佞武多を活用した多くの人が訪れる賑わいのあるまちづくり ①観光資源等の集客拠点を中心とする市街地を総合的に整備することにより、観光機能を強化して交流人口の増加を図り、街なかの賑わいを回復する。 ②歩行者空間の整備により、歩行者ネットワークの形成を図り、まち歩きが楽しいまちづくりを推進する。 ③TMOと連携し、既存商店街の更新を図り、商業者を中心とする地域コミュニティを再生する。	五所川原立佞武多入込客数	単位: 万人	162.5 H16年度	200 H22年度	180.5	H22年度	
	空き店舗数	単位: 店舗	24 H16年度	0 H22年度	0	H22年度	
	歩行者空間利用アンケート	単位: %	77.8 H12年度	25.0 H22年度	78.2	H22年度	
	五所川原立佞武多参加団体数	単位: 団体	16 H17年度		19	H22年度	
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関のバリアフリー化及びJRで分断されている住宅地との歩行者空間ネットワークの整備が遅れている。 商業施設の撤退等地域活力の低下が顕在しているため、地域活性化施設として「立佞武多の館」と都市再生整備計画による都市基盤の整備を行ったが、観光客等来訪者に対する受け入れ体制作りが遅れている。 						
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 広場・道路等都市基盤の整備を継続することにより、歩行者空間のネットワークを確立し、観光客等来訪者に対する情報発信を強化し受け入れ体制を整え、観光客等来訪者数の増加を目指す。 						